

2025 年度事業計画（全国川ごみネットワーク）

海洋プラスチックごみ対策を世界的に求められる中で、川ごみ問題の解決に向けた全国ネットワークとして、各種の情報収集・共有・発信、普及啓発活動等を一層活性化し、全国の川、湖沼、海岸等の水辺のごみ削減対策を推進する。「次の世代とのつながりをつくる」をテーマに掲げ、若者世代の活動等との連携も深めるよう努め、活動の裾野を広げることを意識して活動を展開する。

1. 全国水辺のごみ調査「水辺のごみ見つけ！」の実施

- ・水辺のごみ散乱防止対策に役立てることを目的に、全国規模でのごみ調査「水辺のごみ見つけ！」を 10 年目として継続する。実施期間は 4 月～11 月とする。
- ・国土交通省に向けて、各地方整備局等の協力を得て全国の一級水系の河川管理者による調査を依頼する。
- ・「ごみゼロ」アプリ（ごみゼロ共創推進ネットワーク事務局）と連携し、スマホからも手軽に報告できるようにする。
- ・SNS、投稿、講座発表など様々な手段を活用し、新規参加者の獲得を目指し、広報・普及を促進する。
- ・調査報告した中の希望者には、参加証明証を発行する。
- ・調査結果、川ごみの現状や課題などを事務局で集約し、当ネットワークの HP 等で公表するとともに、関連する企業、業界団体等への直接に報告等を行い、川ごみ、海ごみ削減に活かされるようにする。

2. 川ごみサミットの開催

- ・12 月を目途に開催する。東京で、オンライン併用で開催することを予定する。

3. 川ごみ削減の普及啓発

- ・学校などからの希望があれば、可能な限り出前授業やごみ拾いサポートなどに出向き、子どもたちへの普及啓発を行う。
- ・一般対象とした川ごみ削減の講座などの機会があれば積極的に参画し実施する。
- ・これまでに制作した啓発ツールの貸出し希望に可能な限り対応し、普及啓発を推進する。

4. 川ごみ対策の推進に向けた情報収集・情報発信・普及啓発

- ・会員、一般を対象としたオンラインミニセミナーを開催し、関連情報を学び情報交換を行う。
- ・市民団体、企業、学会、大学等が主催する研究会、イベント等に参加して、当ネットワークの活動内容を報告し、川ごみ、海ごみの課題を共有する。
- ・川ごみ、海ごみ削減のための対策の検討、提言、普及啓発活動を行う。
- ・NPO 法人パートナーシップオフィスの『「水環境マップ 2.0」の展開』事業に協力する。

- ・ホームページ、Facebook 等を随時更新し、情報を発信する。

5. 組織運営

- ・事業計画を検討するための理事会および総会を開催する。
- ・原則として毎月理事ミーティングを開催する。その他必要に応じて、E メール等で意見交換を行う。
- ・賛同する個人・団体の会員を増やし、活動を広める。
- ・会員間のメーリングリストを運営し、会員間の情報交流を支援する。